

～ ヤマケイ通信 ～

- いつもお世話になり誠にありがとうございます。
- 3月に入り、ひと雨ごとに春が近づいてくるように思います。
- 日中はずいぶん暖かくなり過ごしやすい季節になってきましたね。
- 朝晩の寒さもあと少しの辛抱です。春を心待ちに、どうぞご自愛ください。



3月は火災にご用心！春こそ火の用心を！

- 総務省消防庁が毎年発行している消防白書によれば、火事は年を追うごとに減ってきていますが、それでも全国で年間3万件以上起きています。つまり1日に約100件、15分に1件程度のペースで火災が発生していることとなります。その中でも3月の春先は冬を抑えて最も火事の多い季節なのです。
- 3月1日～7日は「春の全国火災予防運動」週間なのをご存じでしたでしょうか。
- 今の時期は一年で最も火災発生件数が多いことから毎年同じ時期に実施されています。
- 春は気温の上昇と共に全国的に空気が乾燥しやすくなり、南風も強くなります。この「強い風」が火災の一因となっていると言われていています。これに加え、春から新生活が始まるということで一人暮らしを始める人が多くなる季節であることも火災を増やしている原因であると言われていています。
- 一人暮らしを始め、使い慣れていない調理器具から出火させてしまう人も多いようです。
- このように春は「天候」と「ライフスタイル」の変化によって火災が頻発すると考えられています。
- また、電気器具・配線からの出火も多発しています。天気予報で乾燥注意報が発令された日は、火災の危険に対して注意を促しています。絶対に軽く考えず火の始末をしっかりと行いましょう。

命を守る1つのポイント

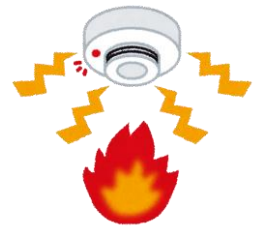
- 火災の怖さは近隣への被害拡大、1度に多くの方が犠牲になるケースもあります。
- 今回実施された春の全国火災予防運動で発表された3つの習慣と4つの対策を心がけてください。

3つの習慣

- ① 寝たばこは絶対やめる。 ② ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ② ガスコンロなどのぞばを離れるときは必ず火を消す。

4つの対策

- ① 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ② 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防火品を使用する。
- ③ 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- ④ お年寄りや身体の不自由な人を守るため、隣近所の協力体制をつくる。



■ ご購読ありがとうございました。次回号をお楽しみに(ˆoˆ)



有限会社 山本圭商店

■ 各種包装機用超硬カッター、セラミック加工、テフロン加工、各種表面処理加工、包装資材全般販売
■ 〒537-0012 大阪市東成区大今里 3-11-24 TEL 06-6971-1347 FAX 06-6971-2201 www.tyokou.jp